

エイジフレンドリーシティ 行動計画ワークショップ

テーマ1 身近なエイジフレンドリーを考える(商い・人・まち)

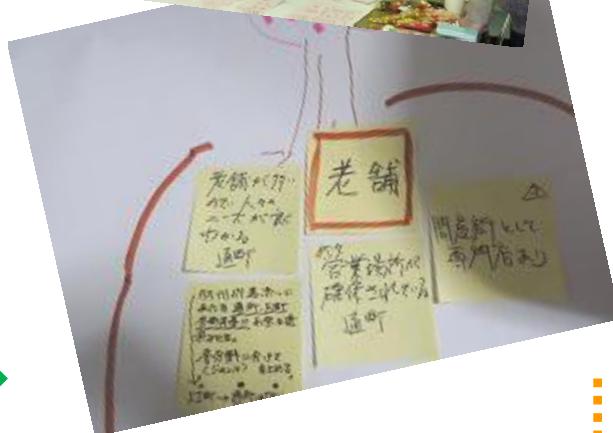
かわら版

第3回

日時:平成24年10月31日(水) 午後6時30分~午後8時
会場:ねぶり流し館 4階 練習室
進行:NPO法人あきたNPOコアセンター
主催:秋田市

当日の流れ

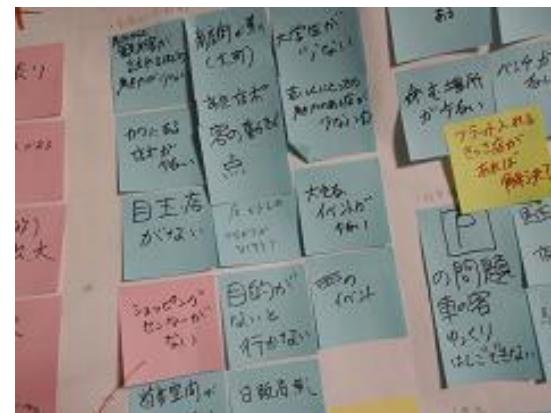
- 6:30~ 開会
2回目のふりかえり
- 6:45~ 意見交換
「通町・大町商店街の
強み・弱みを検証」
- 7:10~ グループ発表
- 7:20~ 意見交換
「通町、大町商店街の
特性を活かした行動計画」
- 7:45~ グループ発表
- 8:00 終了



一方、「商店街の弱み」とは…

●商店街の持つ弱み

- ・高齢者が気軽に入れる喫茶店がない
- ・若い人向けのお店が少ない
- ・核になるお店がない
- ・日曜日営業のお店が少ない
- ・ひと休憩できる場所がない
- ・空洞化が目立つ
- ・雨天のイベント、大きなイベントがない
- ・目的がないと行かない
- …等々。「弱み」から見えてくる課題解決のヒントがあります。

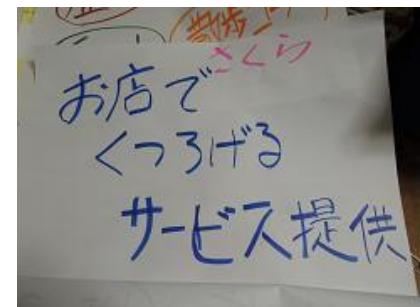


「通町・大町商店街」の特性を活かした行動計画

後半は、**通町・大町商店街**の特性を活かした、エイジフレンドリーシティに向けての具体的な行動計画案について、グループ毎にアイデアをまとめました。

●Team紅

- ・高齢者に生きがいを与えるような**イベント・事業**をみんなでつくりあげる。
- 過程をメディアに露出するなどアピールする。商店街内の商品コラボ、昔の食べ物の復活市、昔の写真展、歴史の案内人、店の裏側見えるツアー等。



●ザ・ジンジャー

- ・身近なことからはじめよう！**空き店舗**を利用して**人が集まる場**をつくる。高齢者が集い、安価で利用できるサービス。集まりやすい交通についての検討も(バス路線・駐車場)。集いの場について、他店からの協力を(飲食店・駐車場)。



●さくら

- ・街の**コンシェルジュ**が居て、歴史・お店・イベント・散歩コースを紹介してくれる。
- お店でくつろげるサービスの提供。**もつきりバー**。パブ？お茶・がっこ・日本酒・コーヒーなど提供し、会話を楽しむ。

商店街という「コンパクトな場」や「人の顔が見える」特性を活かしたアイデアが出されました。どのグループにも共通しているのは、「**人を活かすこと**」・有形無形の「**居場所**」を創出すること。人からはじまる街づくりの姿が見えてきます。

「商店街の強み・弱み」を検証

前回意見出しをした「通町・大町商店街の強み・弱み」について、内容を再検討しました。

●商店街の持つ強み

- ・老舗や歴史ある建築がある
- ・チェーンではないこだわりのお店がある
- ・異業種商店が集まっている
- ・いろいろなイベントがあり楽しい
- ・街なみが綺麗で清潔感がある
- ・世代にわたって顔見知りがある
- ・街づくりを真剣に考えている人達がいる
- …等々がキーになりそうです。

